

趣旨

東浦町人口ビジョンは、今後本町においても人口減少、高齢化の進行が予測されることから、将来の人口を推計し、「国の長期ビジョン」を勘案しつつ、本町における「人口の将来展望」を定めるもので、「東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の基礎となるものです。

東浦町人口ビジョン

東浦町の人口の現状

人口の推移・現状
人口の将来予測
住民などの意識や希望

人口の将来動向
に関する
問題・課題の整理

人口の将来展望

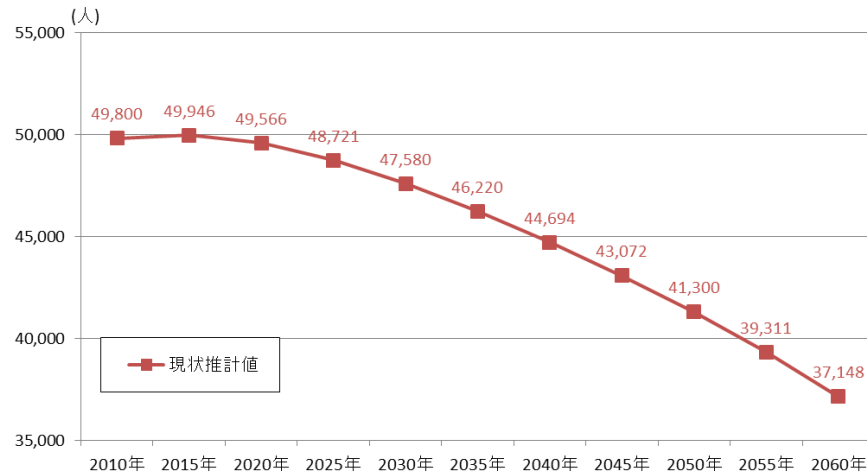
人口に関する
目指すべき
将来の方向
人口の将来展望

東浦町
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

東浦町の人口の現状・課題

人口の現状推計値

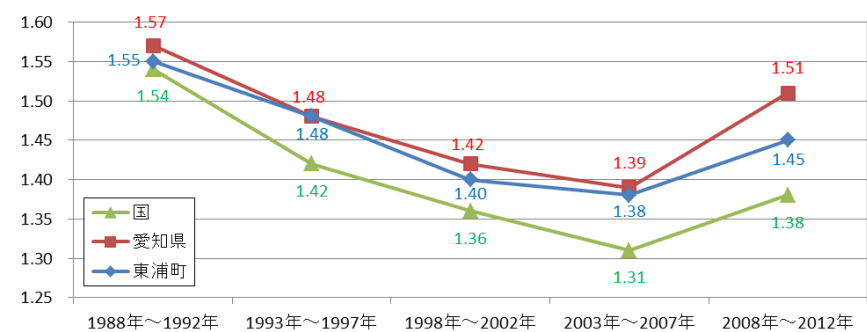
- 人口が現状のまま推移した場合の将来の人口推計値（現状推計値）では、2020年以降に総人口が減少に転じると予測されます。
- 年齢3区分別人口では、年少人口、生産年齢人口は減少するのに対し、老年人口は増加が推計されており、高齢化の進行が予測されます。



【人口の現状推計値】

合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの、愛知県平均を下回ります。
- 女性の年齢別の合計特殊出生率は、30歳以上で増加する一方、29歳以下の若年層で低下しており、晩産化が進行しています。

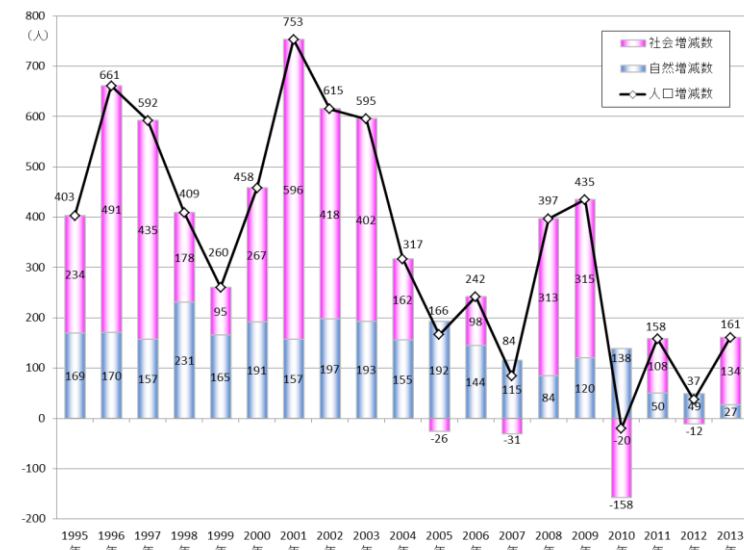


資料：人口動態保健所・市区町村別統計（※国の1998年～2002年以前は人口動態統計による）

【合計特殊出生率の推移】

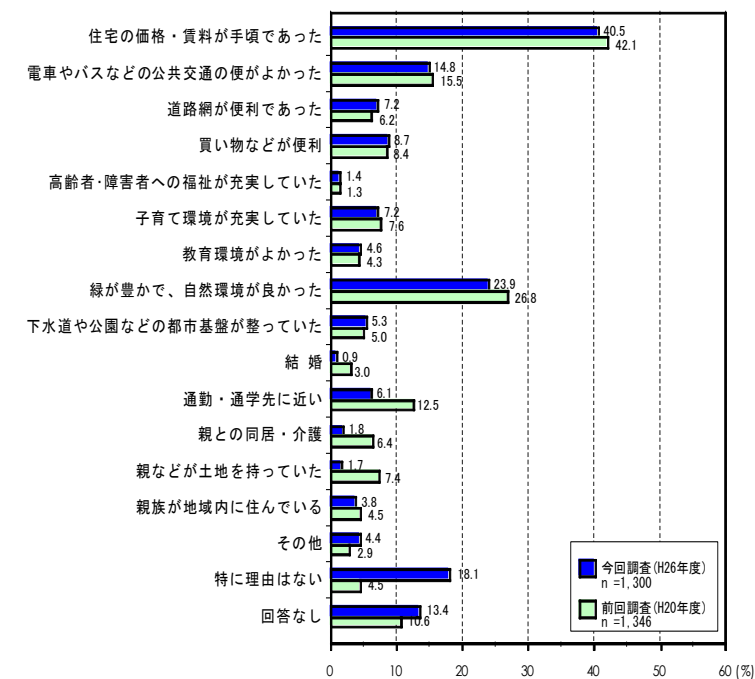
人口動態

- 自然増加数は、死亡数が年々増加していますが、出生数は全体として横ばいで推移しているため、縮小傾向にあります。
- 社会増加数は、転出数が増加傾向にあり、特に30歳前後の結婚・出産・子育ての中心となる年齢層の転出が多いです。



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」（出典：地域経済分析システム）

【自然増減・社会増減による人口増減の推移】



資料：東浦町住民意識調査（平成26年度）

【住まいとして東浦町を選ぶ際に配慮したこと】

人口の変化が地域の将来に与える影響

- 核家族化や子育て世代のつながりの希薄化により、子育ての不安や悩みを抱える家庭が増加する恐れがあります。
- 地域の経済規模が縮小し、本町において多くを占めている製造業の生産活動の縮小や企業収益の悪化につながる恐れがあります。
- 老年人口の増加により、社会保障費が増大し、介護力が低下する恐れがあります。
- 人口減少に伴い消費市場が縮小し、買い物などのサービスが身近で受けられなくなるなどの恐れがあります。
- 空き家や空き地の増加により、市街地の環境や景観の悪化につながる恐れがあります。
- 地域コミュニティにおいて、相互扶助の機能低下や、地域活動の担い手が不足する恐れがあります。
- 生産年齢人口の減少、企業の収益力の悪化などにより、税収が減少し、様々な行政サービスの低下につながる恐れがあります。

人口に関する目指すべき将来の方向

社会増の確保・社会減の抑制

緑豊かな住環境、公共交通の充実による利便性の高い生活環境など、本町の住みやすさを高めることによって、定住が選択される環境づくりを推進します。

社会増の確保・社会減の抑制に関しては、本町に住みたくなる魅力を高めることが必要です。

自然環境の保全と活用による緑豊かな住環境、産業の多様化や就労の機会づくりなどを推進することによって社会増を確保します。

若い世代が町内で子育てをし、住み続けたいと感じられるように、コンパクトな市街地形成や公共交通の充実による利便性の高い生活環境、子どもが健全に育つ環境づくりなどを推進することによって社会減を抑制します。

自然増の確保

結婚・出産・子育ての切れ目ない支援によって、子どもを産み、育てやすいと感じられる環境づくりを推進します。

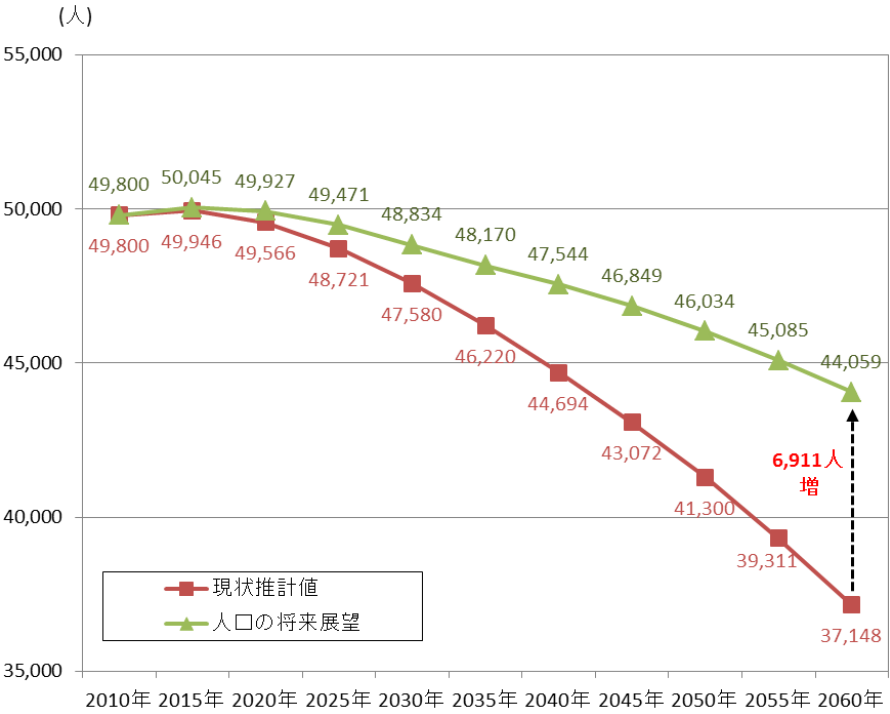
自然増の確保に関しては、主に出生数の増加につながる合計特殊出生率を高めることが必要です。

結婚を望む若い人が希望をかなえられるよう支援を図ると共に、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりを推進します。

人口の将来展望

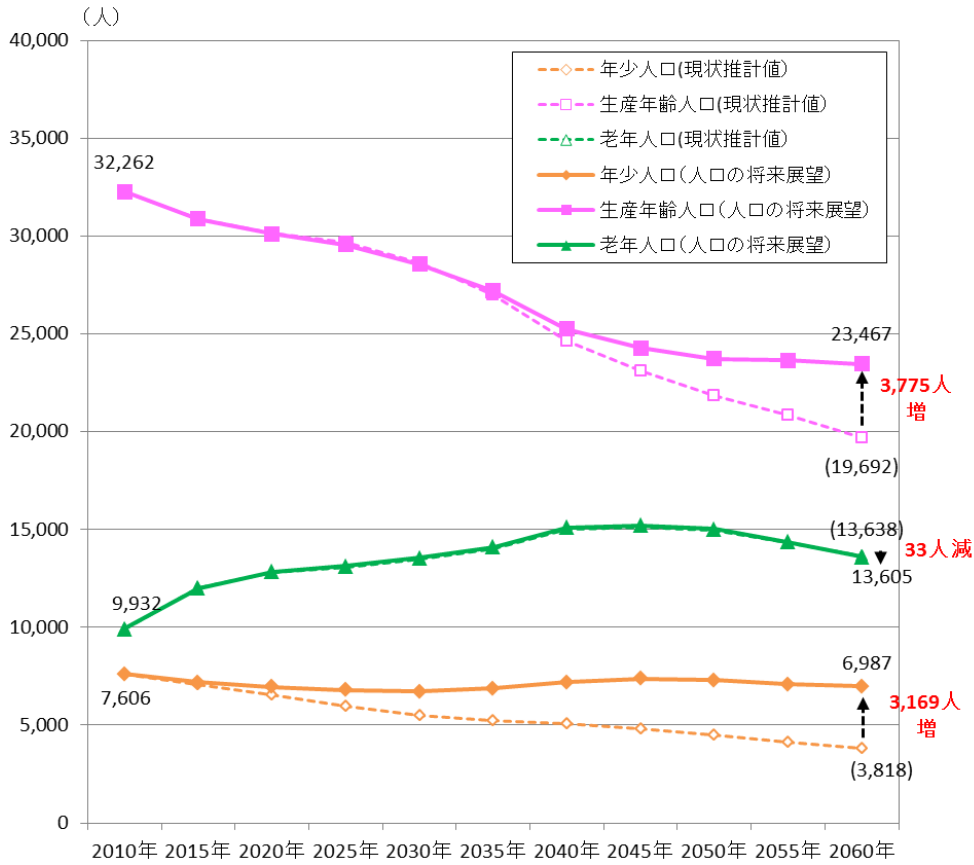
「人口に関する目指すべき将来の方向」を踏まえ、本町における人口の将来展望を次のように設定し、2060年の人口として44,000人程度を確保します。

- 「合計特殊出生率」は国の長期ビジョンに準拠し、2030年までに1.8、2040年までに2.07へ上昇し、その後も維持することを目標とします。
- 「社会移動」は、現状推計値で求めた2015年の純移動率が2020年以降も維持することを目標とします。

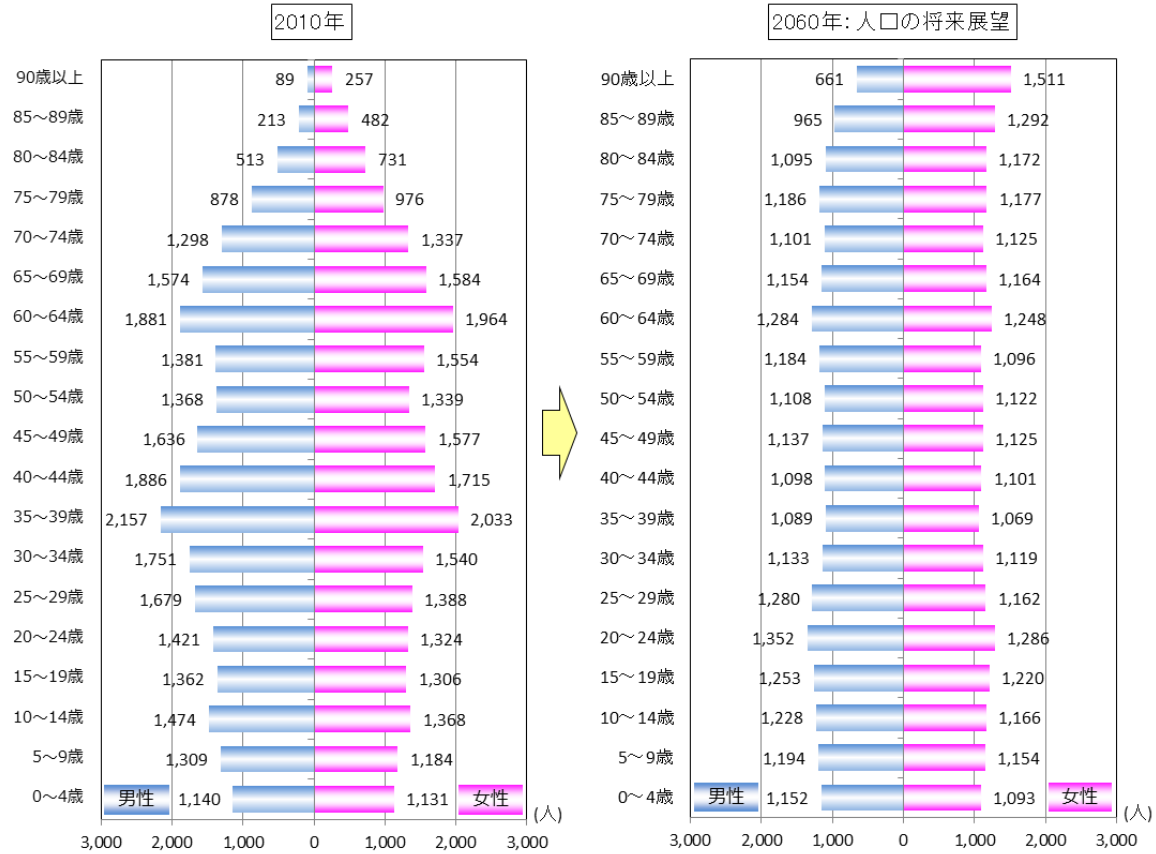


【人口の将来展望】

- 人口の将来展望が実現した場合、2060年における人口総数は44,059人となり、現状推計値(37,148人)よりも6,911人増加すると予測されます。
- 年齢3区分別による2060年の人口は、老年人口は33人の減少と、ほとんど変わりませんが、生産年齢人口で3,775人、年少人口で3,169人の増加となります。
- 2060年における男女・年齢5歳階級別の人口構成では、男女ともに60～64歳の人口よりも20～24歳の人口が多くなると予測されます。



【年齢3区分別人口の推計】



【男女・年齢5歳階級別の人口構成】